

独立愚連隊 (1959)

メディア 映画

ジャンル 戦争

製作国 日本

色彩 B&W

時間 109分

初公開日 1959/10/06

【解説】

岡本喜八が助監督時代に書いた脚本を自ら監督し映画化。「戦争映画+西部劇」という、まったく新しいジャンルを切り拓いた。映画はヒットし、翌年には続編の「独立愚連隊西へ」が製作された。

第二次世界大戦末期の北支戦線。クズ兵士ばかりを集め危険な任務に当たらせる“独立愚連隊”と呼ばれる部隊に、従軍記者の荒木がやってくる。交戦中に中国人慰安婦と心中したという、見習士官のことを調べに来たという。実は荒木の正体は大久保元軍曹であり、彼こそ見習士官の実の兄であり、弟の死の真相を知るため戦地に赴いたのだった。死んだ慰安婦の妹から紙片を渡された大久保は、弟が上官の不正を部隊長に告発しようとして、その上官から逆に殺されたことを知る。

【クレジット】

監督 岡本喜八

製作 田中友幸

脚本 岡本喜八

撮影 逢沢譲

美術 阿久根巖

音楽 佐藤勝

出演 佐藤允

荒木

中谷一郎

石井軍曹

鶴田浩二

ヤン亜東

上村幸之

大久保

三船敏郎

Toshiro Mifune 児玉大尉

中丸忠雄

橋本中尉

南道郎

酒井曹長

瀬良明

山岡少尉

上原美佐

雪村いづみ

中北千枝子

横山道代

塩沢とき

沢村いき雄

江原達怡

桐野洋雄

中山豊

山本廉

夏木陽介

堺左千夫

ミッキー・カーティス Mickey Curtis

笠原健司

手塚茂夫